



根堀台だより

平成30年2月27日

第100号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

最後のPTA参観 各学年らしさの授業を



「久しぶりね」の後は・・・



これは誰のことかな？



命の尊さを親子で考える

2月23日(金)の午後、今年度最後の全校PTAを行いました。当日は「授業参観」と「学年・学級懇談」を行い、1年生23名、2年生27名、3年生26名、合計76名の保護者の皆さん(出席率約8割)がご参加下さいました。

授業参観では1年生は「道徳」で「あなたはすごい力で生まれてきた」という資料を取り上げました。赤ちゃんは、か弱い存在ではなく、母親との共同作業で母親をも支えながら、自分で生まれてきたというお話です。例えば、母親との初めての共同作業が出産時の産声だったなど、「命の尊さ」に触れる授業でした。お父さんお母さんの前で少し恥ずかしそうにしていた1年生ですが、子どもたちの感想の中には親への感謝の言葉が書かれていたそうです。

2年生は「学級活動」で「ブラインド・デート」という、「学級づくり」に効果的なエンカウンターで、自分の特徴を分かりやすく表現し、それを互いに確認することにより、緊密な人間関係をつくらせることをねらいとした授業でした。普段側にいる友だちでも結構分からないこともあるものです。自分に関する問題は各々の子どもたちが準備したのですが、一番多く友だちを当てた人は何と22人だったそうです。授業後、「楽しかった」という声が聞こえました。

3年生は「道徳」で「がばいばあちゃんの言葉」を取り上げ、「久しぶりね」の後に続く言葉を一人一人考えました。「久しぶりね」と言えるということは、「再び会うことができた」ことであり、それは「別れたまま」ではないというでもあり、卒業を機にそれぞれが別の道を歩み出す3年生にとって、「再会の言葉」のもつ意味を改めて噛みしめたことだと思います。また、「さよならと言えただけでも幸せ またねと言えたらもっと幸せ 久しぶりねと言えたら もっともっと幸せ」

今回は学級担任の授業でしたが、学級担任の子どもたちへの「思い」が込められた授業となりました。

最後のPTA役員会 多数ご参加頂きました



図書館は熱気でいっぱいでした

2月23日（金）の学年・学級懇談終了後、図書館を会場に「PTA役員会」を行いました。当日は、図書館が大変狭く感じるほど、沢山の役員の方々に（22名参加）ご参加頂きました。

今回の役員会は「年度末のふり返し」と新年度の準備のための会でした。今年度は6月2日に「秋田県PTA連合会長賞受賞」、10月7日には由利本荘市を会場に「秋田県PTA研究大会由利本荘大会」があり、役員の方々には駐車場係や分科会への参加など例年以上にPTA活動が多忙な年となりましたが、ご協力頂きまして本当にありがとうございました。



各部会後の報告では、総務部からは「歓送迎会への参加者確保のために早めに案内を出す。」、文化部からは「当日講師の先生の都合で開催できない講座があったが、速やかに対応することができた。」保体環境部からは「2年連続雨の運動会となったが、会場変更も速やかにできて大変いい運動会であった。」、校外指導部からは「地区PTAの参加率をあげたい。」など各部の反省があげられました。

本校は2期制になりましたが、学校行事やPTA事業は未だ3学期制のままで実施しています。そのため行事の見直しや精選がこれからの課題といえます。今、丁度新年度準備に取りかかっていますので、PTA事業については今後「三役会」などを開いて色々検討しながら、4月の総会までに「原案」を作っていく予定です。

また、PTA役員会終了後、「懇親会」を行いました。沢山の役員の方々が参加され大変楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

毎朝「氷点下」の日が続く、路面の凍結など登下校には、まだ十分注意が必要です。しかし、2月も後残すところわずか、いよいよ「弥生」3月となります。3月は「高校入試」という「大きな試練の時」を迎えますが、「卒業」「進級」と「旅立ち」の時期ともなります。

さて、3月6日の「一般入試」の日は、「啓蟄」です。これは「二十四節季」のひとつで、啓は「ひらく」、蟄（ちつ）は「土中で冬ごもりしている虫」の意味で、大地が暖まり冬眠していた虫たちが春の訪れを感じて、穴から出てくる頃を意味します。実際には、動物や虫（種類によって違いますが）が冬眠から目覚めるのは最低気温が5度を下回らなくなってからで、平均気温が10度以上にならないといけないそうです。

3月の天気予報では、まだ「雪マーク」や「暴風波浪」という言葉が言われていました。確かにまだまだ寒い季節が続くそうですが、これからは一雨ごとに気温が上がり、日差しも徐々に暖かくなってきます。今週になってから重く垂れ込めた冬の曇り空の隙間から、ここ根堀台でも「鳥海山」が見られるようになってきました。

3月は子どもたちにとって、「心動く時期」です。この時期特有の「不安」があるかもしれないかもしれません。小さな変化を見落とすことなく、家庭でも、学校でも、心に寄り添う声かけを心がけたいものです。